

アルムナイネットワーク・フォローアップ事業2022

「学びのリーダー」参集 !!

教職大学院修了生、県内教員、行政機関による地域協働型研修

つくば教職員支援機構が、現職教員の研修の高度化・体系化を支援し、「学び続ける教師」としての資質・能力の高度化を全国的に図ることを目的とする事業、アルムナイネットワーク人材開発研修を、8月27日（土）、12月18日（日）に2講座を開催しました。延80名の参加者（内修了生37名）により、県内教員の地域協働型研修が実現しました。

『令和の日本型学校教育を担う教員の新たな研修システム構築』をテーマとし、講座Aでは、新たな研修システムと職能開発における管理職の在り方、講座Bでは、インクルーシブ教育時代の学校経営におけるリーダー養成と研修組織デザインについて、県内で活躍する現職修了生を中心に、東・中・南予の県内教員、県総合教育センター、松山市教育研修センター、県内市町教育委員会からの参加者が熱くディスカッションしました。

< 講座Aの講師 >

齋藤嘉則 教授

東京学芸大学教職大学院

学長補佐・附属学校運営部長

石崎耕一郎 室長

愛媛県総合教育センター企画開発室

露口健司 教授

愛媛大学教職大学院専攻長



< 講座Bの講師 >

平澤紀子 教授

東海国立大学機構

岐阜大学教職大学院

渡部 真介 課長

四国中央市教育委員会学校教育課

露口健司 教授

愛媛大学教職大学院専攻長



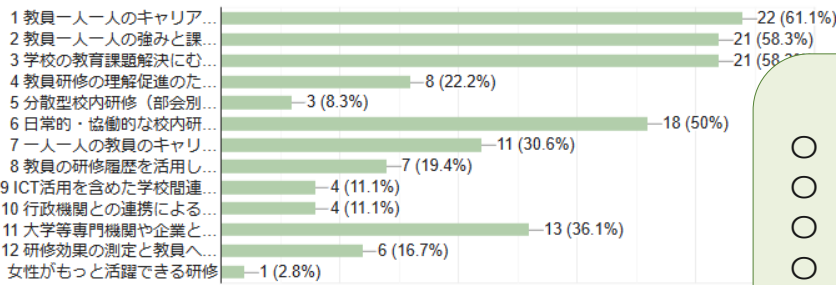
【 研修企画 】

- ① 講話（90分）
- ② グループディスカッション 1（30分）
- ③ グループディスカッション 2（30分）
- ④ 対談・全体協議（60分）
- ⑤ 修了生まとめ（10分）



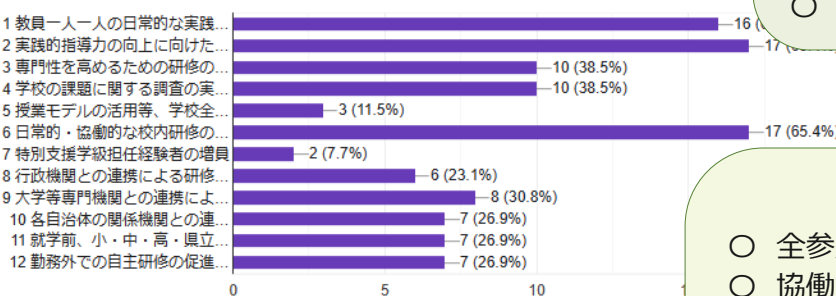
【参加者の所感】

- ・現状の教育的課題に即した研修だったと思う。もっとたくさんの先生方に参加していただけるとよいと思う。
- ・管理職という立場から特別支援の視点をどう学校経営に取り入れていくかを考えるきっかけとなった。
- ・どちらも会場に参加しました。グループ協議で顔を合わせて話し合うことで、より協議が深まり連帯感も高まったと感じた。
- ・設定していただいたテーマについて、広く深く学ぶ機会となった。
- ・国や県の取組や研究されている専門的な立場から講師の先生の話聞くことができ、自校で還元していきたい。
- ・喫緊の課題である新しい研修システムについて、大変有意義な学びになった。
- ・対話を通じた教職員の職能開発と教職大学院と連携した研修の高度化が一層重要になることが理解できた。次回も縁を温めにまいります。
- ・修了生ではありませんが、タイトルに惹かれ、無料でオンライン可能でしたので参加した。校長の役割がよく理解できた。2学期の視点をしっかりともち、先生方を伸ばしていけるよう、実践にうつします。
- ・新たな教師の学びの姿の実現に向けて、沢山の示唆を与えてくださり、ありがとうございました。
- ・協働的な職場作りを行うとともに、教職員一人一人の状況を把握したいと思います。



今年度の工夫・改善点

- 現況に即した研修テーマ設定
- 2講座開設による学びの連続性確保
- 全国教職大学院ネットワーク活用による講師選定
- 県内各地域の教育実践交流
- 地域間・職務間・機関連携による協働型研修
- 修了生の自律的参加と運営協力

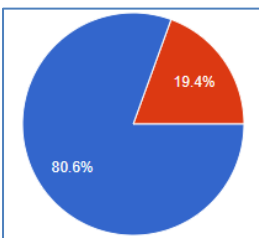


成果と課題

- 全参加者数及び修了生の参加拡大
- 協働型研修による多様な実践交流・意見交換の実現
- 他地域の教育事情の相互理解と情報収集
- 学校現場、行政機関、大学の役割に関する相互理解
- 次年度以降の教育実践の展望と具体的実践課題
- ★ 学校現場と関係機関の連携システム構築と強化
- ★ 「学びのリーダー」育成に向けた研修の機会確保
- ★ 修了生の参加者拡大と学びのネットワーク構築
- ★ 持続可能なアルムナイネットワーク構築

【活用度】

（4件法の4段階：80%以上，3段階：19%）



【職能成長度】

